

2014年10月30日

報道関係各位

【リリース資料】

三井倉庫のインドネシア倉庫、拡張工事が完了し稼働開始
—ジャカルタにおける輸出入貨物取り扱い拡大—

三井倉庫株式会社（社長：藤岡 圭）がインドネシアジャカルタで運営していた既存倉庫の増築工事がこのほど完成し、10月から本格稼働を開始しました。増設したのは延床面積 4.0 千㎡の平屋倉庫で、既存の 9.0 千㎡と合わせて 13.0 千㎡の物流施設となり、インドネシアにおける物流事業の中心拠点として運営して行きます。

本物流施設では、慢性的な渋滞が問題となっているジャカルタにおいて、タンジュンプリオク港近くという立地を生かし、高品質な輸出入貨物取扱サービスを提供して行きます。

また、現在当社は GIC 工業地区に平屋倉庫を新設中で、延床面積は 33.5 千㎡予定、竣工予定は 2015 年 3 月上旬となっております。こちらの新施設が完成すると、当社のインドネシアでの物流施設規模は今年 9 月末時点の 9.0 千㎡から 46.5 千㎡へと約 416%の大幅増加となる見込みです。

【インドネシア ジャカルタ Cakung 倉庫の概要】

名称 : PT. Mitsui-Soko Indonesia Cakung 倉庫
所在地 : ジャカルタ市チャクン地区
施設 : 延床面積計 13,010 ㎡



物流センター増築部分



竣工式の様子

尚、当社は10月1日より持株会社制に移行し、海外事業を三井倉庫インターナショナル（本社＝シンガポール）に集約しました。日本からの目線でなく、海外からの視点で現場に即した迅速な判断を行う必要があるとして本部を海外に移し、各ブロックが責任権限を持つ体制としております。世界を北東アジア（日本、韓国、台湾）、中国（香港を含む）、東南アジア、米州、欧州の5ブロックに分け、三井倉庫グループの強みである倉庫施設を中心としたロジスティクスサービス事業を展開していく所存です。

以上

【お問い合わせ先】

三井倉庫ホールディングス株式会社 広報室（鈴木）

TEL 03-6400-8017